

第4回とやま未来創生戦略施策等評価会議における主な意見

(令和元年12月16日開催)

◆全般に関すること

- 次期戦略では、各市町村それぞれの違いも踏まえて施策やKPIを設定してほしい。
- 今後はKPIに優先順位を付けて見直し、項目数を絞ってもよいのではないか。

【基本目標1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 30歳代以上の未婚率等の指標があってもよいのではないか。
- 小中高校のうちからライフプラン教育を進めていくことが重要。
- 子育て応援券の利用率をあげるべき。
- 2期戦略では子供の虐待防止の観点も必要ではないか。
- 男性の家事育児参加の推進とあわせて、女性の育児休暇取得率や取得期間の向上が必要ではないか。

【基本目標2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

- 東京だけでなく、東北地域（仙台）や大宮等でも魅力発信を行うべきではないか。
- 本県の優秀な学生や県外出身の学生が最終的に県内に定着することが重要。

【基本目標3】女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

- 県内中小企業（製造業）の付加価値額について、現状や今後の景気動向の影響を考慮すべきではないか。
- 外国人留学生の県内就職の促進が重要。

【基本目標4】活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

- 中心市街地の歩行者通行量、小売業の商品販売額の指標については、次期戦略では見直しが必要ではないか。
- バスロケーションシステムについて、外国人観光客にも使いやすいものとする必要があるのではないか。